

海外子会社（特に新興国）のリスク管理も視野に入れた

グループ経営管理・子会社管理体制の実践

～ 不正等のリスク低減と効率的管理の両立を追求する ～

《開催要領》

- 日 時 ● 2014年8月8日（金）13:00～17:00
- 会 場 ● 企業研究会セミナールーム（東京：麹町5丁目）

講師 KPMG ビジネスアドバイザー（株）

シニアマネージャー 山口隆二氏（公認会計士）



朝日監査法人（現：あずさ監査法人）に1997年入所。以来、会計士監査を中心に、株式公開支援業務、様々な企業の内部管理体制に関する業務に従事。KPMG ビジネス・アシュアランス（株）、あずさ監査法人ビジネス・アドバイザー事業部を経て、現職。グループ管理体制・リスク管理体制・内部監査等の支援業務に主に従事。

《ご参加頂きたい方》

内部監査部門、経営企画部門、関係会社管理部門、経理部門などの関連部門において、グループ会社の管理、監査などを担当されるご担当者

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

FAX:03-5215-0951

*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名（税込・資料代含）

正会員 34,560円（本体価格 32,000円） 一般 37,800円（本体価格 35,000円）

141167-0101(※) グループ経営管理・子会社管理体制の実践			
ふりがな 会社名			
住 所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 役 職		
E-mail			

- 参加要領：申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- ※よくあるご質問（FAQ）は当会HPにてご確認ください。（[TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]）
- ※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、代理の方のご出席をお願いいたします。
- お申込・お問合わせ先：企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp
TEL:03-5215-3514 FAX:03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31Mビル2F

グループ経営管理・子会社管理体制の実践

8/8
（金）

13:00

■開催にあたって■

従来からグループ経営の必要性・重要性は周知の事実であるといえます。しかし、具体的にグループ経営管理とは一体何をすることなのか？といった悩みの声もいまだに多く聞かれます。特に最近では企業のグローバル化が課題と言われる中、新興国への急速な事業展開が加速しています。これに伴い、従来のような『親会社から数名を派遣し各拠点の裁量に委ねる』ことでは対応が困難なリスク・課題が増大しています。さらに、子会社統合を主としたグループ再編の加速などが見られるように、財務報告内部統制制度を中心とする制度対応のため管理負担の増大に対し、いかにして管理負担を軽減するか、効率的な管理を実現するかも重要な課題となっています。上記の一方で、これまで『管理』という各社に専門分野を担う機能別組織を置いて行われてきた等が背景となり、会社の壁・部門の壁に阻まれグループ・組織横断的な組織的対応による管理体制が構築できないという企業も見受けられます。自社グループの経営管理体制のあり方として、何をいかにして実現するか、その明確化と共有化を図り、実践していくことが非常に重要になってきています。そのためには、管理方針、管理目的・項目、組織設計、各機能の連携方法等の議論の前提となる理論を理解した上で、自社に合わせた検討を促進していくことが求められます。このようなプロセスは、新たな環境変化の際にも柔軟な調整・見直しを図ることに繋がります。本セミナーでは、経営企画部門、子会社管理部門、内部監査部門等の方を対象に、上記の観点からグループ経営管理、子会社・海外拠点管理の主要論点、対応策等のポイントを解説します。

■プログラム■

1. グループ経営管理・子会社管理の目的と阻害要因
 - (1) グループ経営管理・子会社管理の目的
 - (2) 従来からよく見られる悩み
 - (3) グループ経営管理・子会社管理の阻害要因
2. グループ経営管理・子会社管理の基本諸論点
 - (1) グループ経営管理・子会社管理に必要な要素の概念
 - (2) 要素別の論点
3. 実践上の課題とヒント
 - (1) 体制構築・高度化を進める上での課題
 - (2) 対応の方向性
 - (3) 省力化・効率化のアプローチ
 - (4) 関係会社管理規程等のルール整備活動を活用した体制構築
4. 実践のために求められるスキル
 - (1) 実践担当者に求められること
 - (2) 個人のスキルを組織のスキルに繋げる工夫
5. 海外子会社管理のポイント
 - (1) 海外子会社管理の基本
 - (2) 新興国における子会社管理の留意点
6. 質疑応答

17:00

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい！一枚のパンフレットで2種類のセミナーをご案内しております。